

調味料・加工食品事業

84%

セグメント別  
売上高構成比率

(2012年3月期)

総菜関連事業等

14%

その他の事業

2%

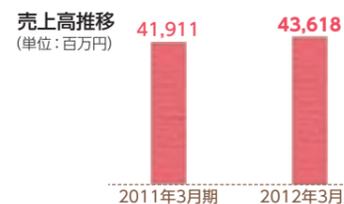
## 調味料・加工食品事業

売上高

43,618百万円

セグメント利益

1,829百万円



主な事業内容

調理加工食品(ポテト/ゴボウ/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)の製造・販売

<調理加工食品>は、前期比売上高で1.2%増加、販売重量で0.7%増加しました。ポテトサラダ、パスタサラダ、ゴボウサラダ、ツナサラダに加えて春雨、パンプキン、豆等の素材を生かした商品や明太子、コーンを使用した商品が好調に推移しました。特に製パン業界、外食業界、量販店向けなどでツナサラダ、ゴボウサラダが伸張しました。

<マヨネーズ・ドレッシング類>は、前期比売上高で6.8%増加、販売重量で6.3%増加しました。量販店向けの1kgや500g形態のマヨネーズが好調を維持し、10kg形態のマヨネーズも引き続き伸張しております。また、西日本工場における最新の製造ラインのドレッシングは主力商品になりつつあります。特に外食産業向けのドレッシング・ソース類が好調に推移しました。

<タマゴ加工品>は、前期比売上高で6.7%増加、販売重量で2.0%増加しました。各製パンメーカーのフィリング向けタマゴサラダ、弁当・すし用の厚焼き卵、茹で卵が大手コンビニエンスストアで採用され、大幅に増加いたしました。



## 総菜関連事業等

売上高

7,298百万円

セグメント利益

264百万円



主な事業内容

国内の連結子会社8社が行う事業、フレッシュ総菜(日配サラダ・惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

主要な原料である卵の価格が震災直後から高騰し、また野菜の価格も台風の影響等により高騰しましたが、九州地区における生産拠点の統合をはじめとしたコストダウンや経費削減対策を行うとともに収益性の高い商品に注力した商品政策を実施してまいりました。特に関東地区では震災後の供給体制が評価され、シェアアップ、売上増に寄与しました。

## その他の事業

売上高

960百万円

セグメント利益

△1百万円



主な事業内容

ショップ事業(サラダカフェ・ショップ)及び海外事業

<サラダカフェ>は、阪神百貨店梅田本店(2011年3月)及びイトーヨーカドーあべの店(同4月)、小田急百貨店新宿店(2012年3月)に新規出店し、合計14店舗による市場演出型企業の実践を進め、Webサイトとの連携により、その存在感をアップさせました。

<海外事業>は、中国市場における台湾企業との事業提携がスムーズに進捗し、杭州工場(マヨネーズ・ドレッシング類の製造)は2012年3月に竣工し生産を開始しました。



Salad Cafe 小田急百貨店新宿店